R&Dフェーズ｜研究　**実用化時期**｜FY27-

Mehr Licht!
More Photonics for Intelligence

#B06

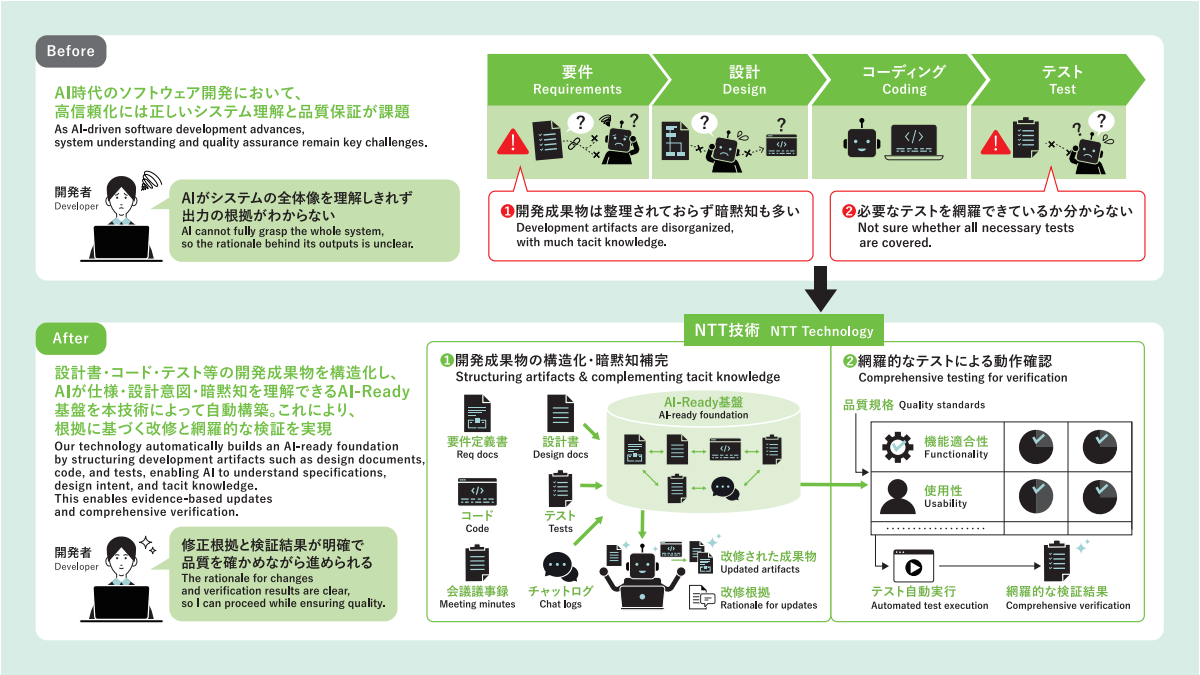
#DX・AX（デジタル変革）#業務効率化

AIによるソフトウェア開発の高信頼化技術

開発成果物の網羅的な品質保証により、機能追加・修正を高速かつ高品質に実現します

技術課題・ゴール

生成AIによるソフトウェア開発の高速化が進む一方、高信頼な開発には、開発成果物であるドキュメント・コード・テスト間の関係に加え、設計意図・暗黙知の把握が不可欠ですが、一般知識しか有さない生成AIでは正確な把握が困難です。
開発成果物を構造化・再整理し、生成AIが設計意図・暗黙知を正確に理解できるAI-Readyな基盤を整備することで、継続的な機能追加・改修と品質維持の両立をめざします。



技術ポイント

要素技術

・ドキュメント・コード・テスト間の構造・依存関係を解析し、陳腐化した情報を構造化・再整理するとともに、不足する設計意図や暗黙知を補完する技術
・要件・設計・品質観点と既存テストの対応関係を解析し、テストの網羅性を評価するとともに、不足する確認観点やテストケースを特定・拡充する技術

市中技術差異点

・生成AIのみでは把握が困難なシステム固有の設計意図・暗黙知を、開発成果物に加え、会議議事録やチャットログ等の関連情報から抽出・補完
・品質説明が困難なソフトウェア品質を、品質基準やテスト技法に基づく多角的な品質観点から評価し、不足するテストを設計・拡充

適用ビジネス/ユースケース

情報技術

現行システムの継続開発において、担当者の異動やドキュメントの陳腐化により、仕様や設計意図の把握が難しい場合に、ドキュメント・コード・テストに加えて会議議事録・チャットログ等を解析して不足情報や暗黙知を補完・体系化。生成AIがシステムを正しく理解できる状態を整え、機能追加・改修を効率化します。

出展組織

NTT株式会社 コンピュータ&データサイエンス研究所